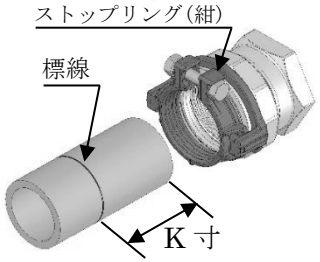
SKX® 施工手順（塩ビ管用）

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量（K 寸）を測り、**標線**を記入して下さい。

分解せずにそのまま**標線**まで挿し込んで下さい。



注1）・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。
・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

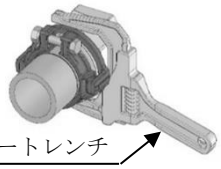
②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め（**素手もしくはスベリ止め付グローブで締まらなくなるまで**）した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

注 2）・十分な手締め（素手）は 8N･m 程度です。
・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。
・手袋使用の場合は、スベリ止め付グローブを使用して下さい。

③キャップ本締め

ショートレンチにて**キャップを標準締付回転数（標準締付トルク）**で締め付けて下さい。

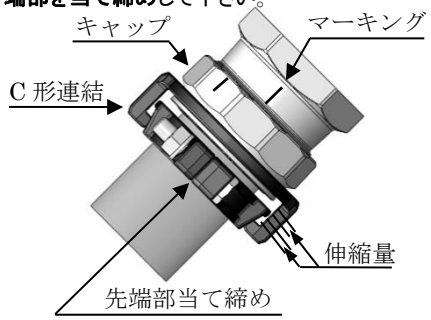


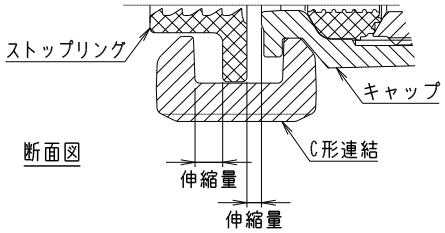
注3）低温時は通常より1/4回転増し締めして下さい。

④ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。**

両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部を当て締め**して下さい。





注 4)当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。

注 5)管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注 6)再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入

キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

≪管の取り外し≫

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩めるだけ**で管と**分離可能です。（分解不要）**

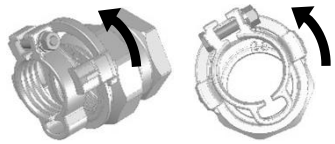
管呼び径	SR呼び径（紺）	本体呼び径	K (mm) ＋10/－0	キャップ 十分な手締め後回転数	キャップ 参考締付トルク N･m	ストップリング（参考締付トルク N･m）		六角対辺
13	V13	V13	**50**	**1/4**～3/4	(15)	当て締め	(3)	10
16	V16	16					(4)	
20	V20	20	**55**	**1/2**～3/4	(20)			
25	V25	25					(5)	
30	V30	V30	**60**				(8)	13
40	V40	40	**65**	**1/2**～8/10	(30)		(12)	
50	V50	50	**75**	**1/2**～ 1	(35)		(25)	17

注）パイプエンドの場合、K 寸は＋5／－0 です。　※太字：下限値

SKXストップリング（SR）交換手順

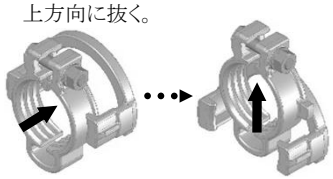
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



②ストップリング取り外し

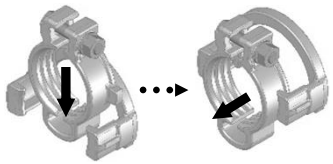
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



③ストップリング交換

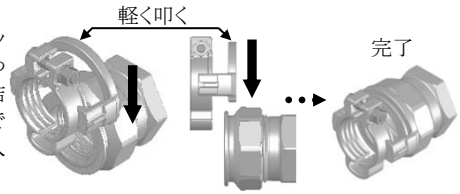
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。



(株)川西水道機器　TEL 087-805-0001（施工コールセンター）
FAX 087-877-2801

2019.05.30